

丹沢・白馬尾根

M・T記

期 日：9月9日（日）

コース：瀬谷6：45→魚止橋8：25→造林小屋8：58→渡渉地点9：20→引き返し渡渉地  
点9：44→魚止橋10：53

参加者： S・S M・T A・A

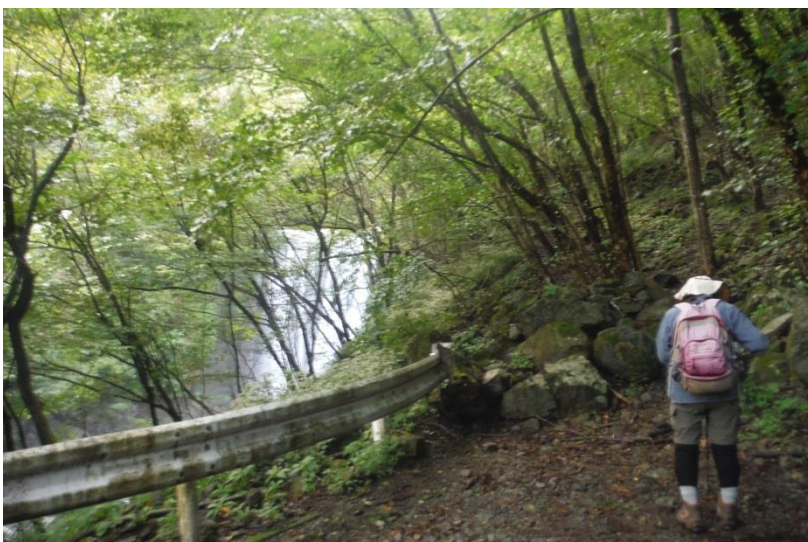
報 告：



魚止橋手前には、先行者の車が有った



黒くて字が読みにくいですが、魚止橋です。



魚止橋を渡ってすぐに左の踏み跡を辿る



落石多しの立て看板が随所に有る  
早戸川林道を行く



伝道に有る早戸大滝案内板

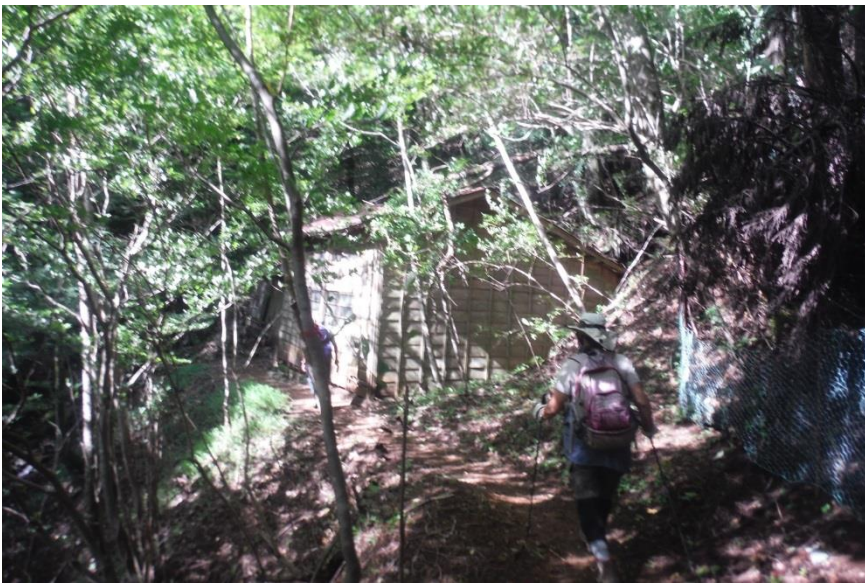
今日私達は分岐で右・左と  
別れ早戸大滝には行かない



右に大きく曲がる  
直進に踏み跡があるが東丹沢登山詳細図で確認すると直進道は暫くすると行き止まりとなっている  
要注意場所である



鹿柵沿いに登る



造林小屋着  
利用されずに荒れ果てている



造林小屋の壁に取り付けられた雷平への案内版



傾いている栈道



真っ直ぐに歩けない崩れそうな狭い栈道



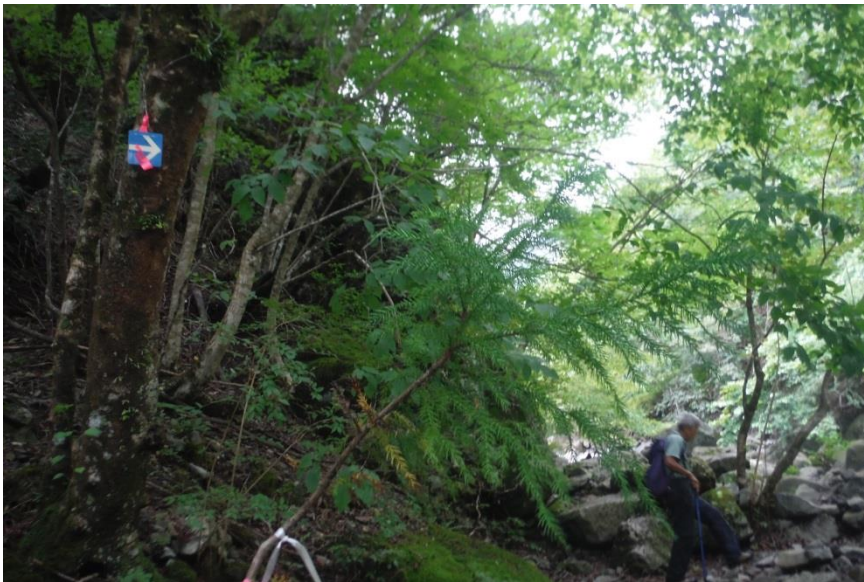
手足総動員の小さな岩場を登る

登ったと思うと今度はザイル頼りに急な下り





気を引き締めて2本作りの丸  
太橋を渡る  
水深くストックは使えない

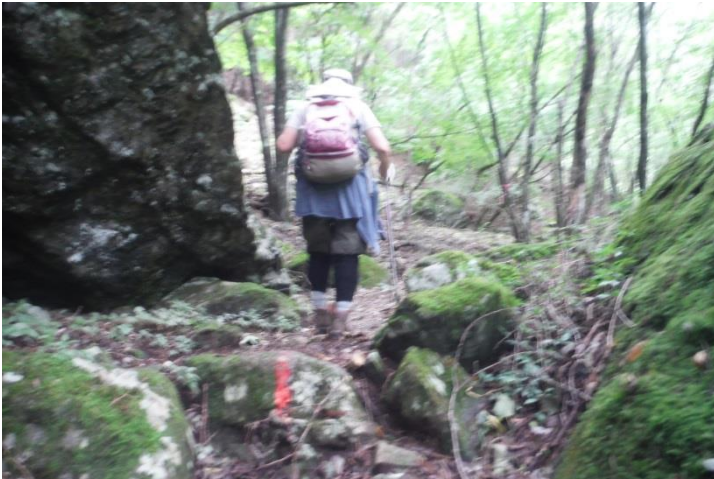


渡り終わると木の高い場所  
に進行方向を示す矢印有り



高巻きする道もあるが往路はザイル頼りで沢側に降りる  
ザイルが足りずに持参のザイルで補助を作ってもらって下りる





ところどころ岩に赤ペンキマーク有り



例えば、手前を四つん這いで進んで丸太1本になった所の急流をどう過ぎるか・・・・・・・・？  
深すぎてストックも川底に着かない水深膝上30cm以上は有りそうだ無理は禁物と次回に期待して引き返すことにした



個人的には渡渉より苦手な栈道



伝道にて、蛭を払う  
何故か先頭の一人だけが蛭に取り付かれた

白馬尾根取り付き点150m前までの山行だったが、下見気分で満足山行でした